

世界の切手に見る消防関係の切手(17)

平 岩 道 夫 (切手評論家)



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



(写真⑤)



(写真⑥)



(写真⑦)



(写真⑧)

神戸を中心に突然見舞われた阪神大震災では、火災のため焼け出された人たちも、想像以上だった。

改めて消火活動のむずかしさを、教えてくれることになってしまった。

近年、世界各国でも消火活動や救急活動にはことのほか力を入れ、一般性のある“切手”を通して、国民にPRするケースも少なくない。

そこで本号では、ニカラグア発行の消防関係の切手7種を中心に紹介したい。

ところでニカラグアは、人口420万人で、カトリック信者の多い国としても有名。首都はマナグアで、言語はスペイン語。コーヒーや綿花栽培、それに牧畜が盛んな国である。

(写真①)まずは消防署の建物と出動を待つ2台の消防自動車を描いた切手である。

(写真②)(写真③)とくに説明しなくてもおわかりのように、2枚の切手ともズバリ消防自動車が描かれている。

(写真④)緊急を要するときのみ出動する車で、これは人命救助にも活動する。

(写真⑤)ハシゴも備えつけ、道路事情の悪化を助けるユニークな車を描いた切手。

(写真⑥)沿岸で起きたビル火災で活動する消防士と自動車を描いた切手。

(写真⑦)複数の消防士たちの活動ぶりを描いた切手。

(写真⑧)この切手の左上部にある通りEAAAΣ1、つまりギリシャ発行の切手。

高層建築の消火活動の様子を描いた珍しい図案である。